みやぎのだより No.115

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

令和2年3月17日

白石・七ヶ宿支部　阿部耕太郎牧場

CONTENTS

新築牛舎のご紹介 …… 1
酪農研修会の開催 …… 2
生乳の安全・安心確保のための
宮城県協議会モニタリング実施 …… 3
畜舎環境美化コンクール審査会の開催 …… 3
畜舎環境美化コンクール入賞作品発表 …… 4
各支部で研修会の開催 …… 9
牛群検定～優良事例紹介～ …… 10
酪農技術シリーズ㉑ …… 11
飼料情勢 …… 13
生乳生産実績 …… 14
理事会通信 …… 14
売りたし、買いたし …… 15
新型コロナウイルスの
感染拡大について（お願い） …… 15
編集後記 …… 15

新築牛舎のご紹介

指導課

白石･七ヶ宿支部の阿部耕太郎牧場は、白石市不忘地区にあり蔵王山麓の澄んだ空気と豊かな自然が広がったところです。労働力は経営主の耕太郎さん由紀子さんご夫婦と後継者の拓未さんの３名で作業しております。

新築牛舎(48頭対尻式)は建物を自己資金、設備関係を畜産クラスター機械導入事業･ICT化機械装置等導入事業などを利用し、昨年の８月から工事を始め今年２月に完成いたしました。

今後はカッティングミキサーを導入し自給粗飼料を利用したTMR給与と、自動給餌機のトップドレスで個体管理を行い、最小の労働力で最大限の個体乳量が発揮できるよう計画しております。

●新築牛舎の概要

搾 乳 牛 舎：搾乳牛48頭規模(旧34頭)

付 帯 施 設：ミルカー、キャリロボ、自動給餌機、餌寄せロボット、バーンクリーナー

牛舎内部

搾乳ユニット(８台)

自動給餌機(１日５回)

餌寄せロボット

牛移動時の記念写真

搾乳する拓未さん

酪農研修会開催

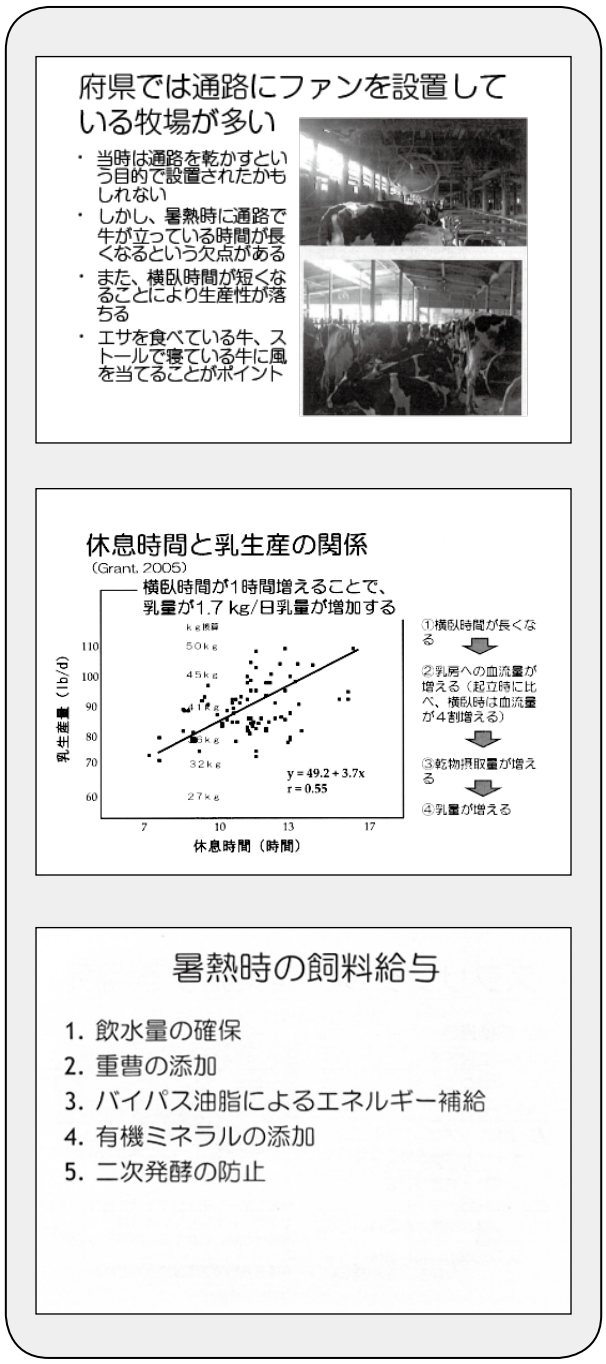
購買課・指導課

２月20日(木)、21日(金)に酪農研修会を開催し、本所では27名、仙南支所では22名が参加されました。

今回は、午前は雪印種苗㈱白石営業所の越智丈斗氏、仙南では同営業所の高田周氏が『牧草地の維持管理と増産について』、同営業本部トータルサポート室次長の松本啓一氏が『暑熱対策について』、午後からは全酪連仙台支所購買畜産課酪農技術アドバイザーの千田耕一氏が『ルーメンとＴＭＲ』を演題に研修が行われました。

各演題では、気象条件や土壌に合わせた草種や土壌管理の重要性、暑熱対策の具体例や改善例、ルーメンの活用とＴＭＲの注意点等が語られました。

テーマが多岐で、講習も長時間にわたりましたが、皆さん真剣に聴講されていました。



生乳の
安全・安心確保のための宮城県協議会モニタリング実施

販売課

２月26日（水）に「生乳の安全・安心確保のための宮城県協議会」が県内４地区において、酪農生産現場での管理基準記帳状況とチェックシート記入のモニタリングを実施しました。

当協議会は宮城県、乳業メーカー、酪農団体、共済組合、獣医師会、動物医薬品団体、飼料団体で構成されています。組合員258名を対象とした２月時点でのチェックシート完全記帳率は98％でした。

チェックシートは酪農家が日々の生乳生産の記録や農薬、肥料、抗生物質製剤等の使用に関する記帳・記録を行い保管するものです。

食品安全基本法による食品事業者として、記帳・記録・保管が義務となっています。食品への安全・安心に対する社会的要求が高まっている今、生産者としての自己防衛と国産牛乳・乳製品への信頼向上を図るために必要な作業なので必ず記帳するようにして下さい。

今後も処理室の清掃等を行うとともに、「生乳生産管理チェックシート」へ記帳・記録を行い、動物用医薬品等の休薬期間を厳守し必ず出荷前の検査を行いましょう。

畜舎環境美化コンクール審査会の開催

指導課

１月29日（水）本所大会議室において「令和元年度畜舎環境美化コンクール」の審査会を開催いたしました。

このコンクールは、畜舎のイメージアップと畜産物の消費拡大を推進するため、県内の酪農家の環境保全意識向上を図り経営の安定的発展を目的としております。年度当初に全戸に配布された花の苗を育て、その花を基調として牛舎周辺を草花で彩り、その美しさを写真に収め競うもので、婦人部の後援により毎年開催されております。

審査方法は宮城県農政部畜産課　石黒技術主査、全酪連仙台支所　石本次長、雪印種苗株式会社　東海林所長、伊藤組合長、婦人部・佐藤部長をはじめ14名の審査員が審査にあたりました。

厳正なる審査の結果、最優秀賞には栗原支部の菅原純子様に決定いたしました。

尚、例年開催しています表彰式・研修会は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み中止となりました。

ご理解の程よろしくお願いいたします。

令和元年度

畜舎環境美化コンクール
入賞作品発表

最優秀賞

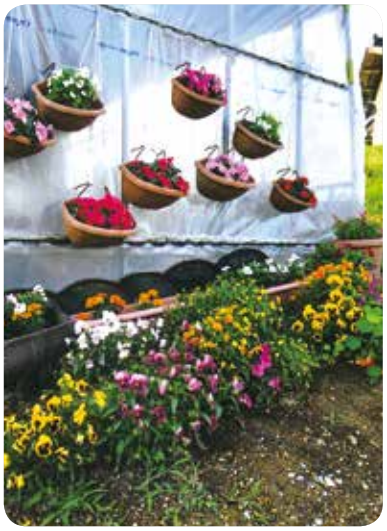
栗原支部

菅原純子さん

優秀賞

石巻支部

伊藤生子さん



令和元年度

畜舎環境美化コンクール 入賞作品発表

優秀賞

石巻支部

須藤しづ子さん

優秀賞

大崎支部

佐々木博子さん

優良賞

登米支部

柴田みわ子さん

優良賞

仙南支部

木村せい子さん

令和元年度

畜舎環境美化コンクール 入賞作品発表

優良賞

栗原支部

鈴木咲子さん

優良賞

栗原支部

佐藤和美さん

優良賞

栗原支部

砂金奈生さん

優良賞

仙南支部

吉田明美さん

各支部で研修会の開催

指導課

各支部において研修会等が開催されましたので、一部ではございますがご紹介致します。

【青年部本部】

【加美支部】

【青年部仙南支部】

【婦人部仙南支部】

【青年部大崎支部】

【婦人部大崎支部】

牛群検定～優良事例紹介～Vol.16

指導課

株式会社　猪股牧場

●牧場の概要（令和２年１月現在）

＊所　在　地：加美町　　＊代表　猪股聡士さん
＊飼 養 頭 数：140頭（経産牛113頭、育成牛27頭）、預託30頭
＊年間出荷乳量：約960t
＊補 正 乳 量：約10,000kg ／頭
＊飼料作付面積：牧草 33ha

●牧場のこだわり

①法人化して経営発展

平成29年１月４日に法人化しました。きっかけは、酪農経営を継続、発展していくためには「家族の労働力だけでは、不足してしまうのでは」という不安があったためです。そのため、法人化して社会保険など就業条件を整え、人材確保を目指しました。

その結果、平成30年４月には一人目の従業員を雇用することができました。その後も先進的な酪農法人との情報交換を行ったり、県担い手育成総合支援協議会から派遣いただいた社会保険労務士や中小企業診断士の方々へ、労働環境の整備について相談しました。

さらに、平成31年４月には増頭とともに従業員２名を雇用して規模拡大しました。以前から従事していた父母を含め、休暇を取れる環境が実現できました。

②ICT機器や軽労化機器の導入

一方で、省力化などにも取り組んでいます。令和元年12月には、牛の行動から疾病や発情を検知する「U-motion」を導入しました。また、TMR飼料を自動給餌するため「マックスフィーダー」の導入を予定しています。勤務する従業員が入れ替わっても、継続的にデータを記録、共有するとともに、管理にばらつきが生じないようにしていきます。

疾病や発情をU-motionにより発見、管理

●牛群検定の活用方法

牛群検定は、16年前に私が就農すると同時に加入しました。将来、牧場主として経営していくためには、現状を把握して、改善点を見つけて取り組まなければならないと考えたからです。

毎月の成績をもとに、個体の体細胞数、PF比や泌乳持続性を中心に確認し、飼料会社の助言を得ながら直ちに給餌量に反映しています。また、半年先の生乳生産量を予測するとともに分娩予定を確認しています。

さらに、後継牛保留のための交配計画を立て、改良に活用しています。

●牧場から一言

牛群検定に加入することで、牧場の現状をデータから正確に把握し、今後の目標を立てています。令和２年は、従業員とともに、自家産の牧草を豊富に食べた健康な牛から年間出荷乳量1,050tを目指します。

〔文責：大崎農業改良普及センター　千葉〕

牛群検定には６ヶ月間無料で体験できるお試し検定事業があります。
牛群検定を始めてみようかな、と思われた方は下記までご相談下さい。

・宮城県ホルスタイン協会	〔(一社) 宮城県畜産協会内〕	TEL：022-298-9750
・県南乳用牛群改良組合	〔(一社) 宮城県畜産協会仙南事業所内〕	TEL：0224-52-2523
・県北乳用牛群改良組合	〔(一社) 宮城県畜産協会中央事業所内〕	TEL：0229-34-3304

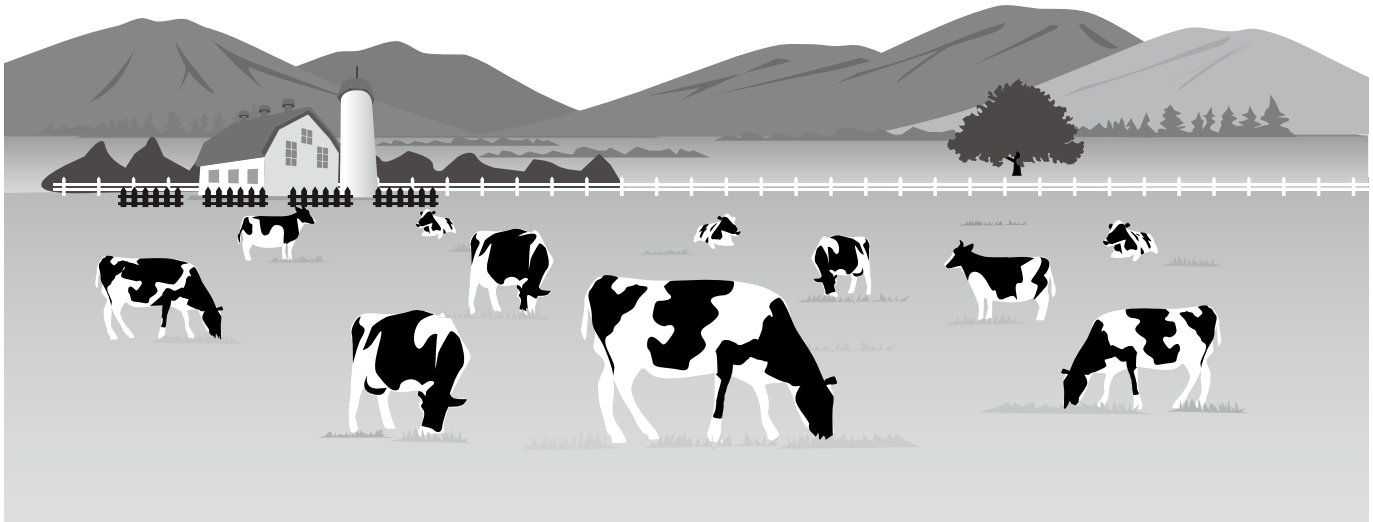
牧草の播種（春まきや撒き直し）について

昨年10月の大型台風で草地が傷んでいる方がいらっしゃると思いますが、今回は牧草の撒き直しや春まきについて述べていきます。

● 播き直しのポイント

牧草の春まきは雑草との競合や旱魃の影響が心配されますので、チモシーの様な初期成育の遅い草種よりはオーチャードグラス（ナツミドリ）やペレニアルライグラス（フレンド）の様な初期成育に優れる草種を中心に選択される事をお奨めします。またイタリアンの草地であれば早生種であればタチマサリ、中晩生であればマンモスＢが春まき適正や収量性が高く、お勧めです。オーチャード主体草地の更新を春まきで考えている方は播種時期が遅くなりそうな場合、無理にオーチャードを春まきせずにイタリアンを春まきして、しっかり収量を確保し、秋にオーチャードを播種するといった判断もお勧めします。

一方、部分的な播き直しで済む場合は追播作業となります。既存牧草を活かしつつ追播牧草を定着させていかなければならないので、裸地の割合も考慮しながら播種時期も含め対策を決めていきます。裸地率が６割以上ある場合は、草地全体の播き直しと同様に機械が入れる春の早い時期に播種する必要があります。次に裸地率が４～５割程度の場合は当年の収穫量が減収してしまいますが、最終番草の既存牧草が再生してくる前に追播すると追播牧草の定着率も高く改善効果が認められます。



撒き直しの方法

完全更新後や火山灰土壌などで表層が柔らかい場合は追播機やブロードキャスターで播種し、その後鎮圧します。この時に牧草種子がしっかりと覆土出来ているかがポイントになります。覆土されていないと、その後の発芽不良や生育不良の原因となり、旱魃の影響も受けやすくなります。鎮圧だけで覆土が出来ない場合は、播種前に手持ちのハローを利用して、土を露出させてから播種・鎮圧作業を行い、覆土が確実にできれば発芽や初期生育も良く、草地も綺麗に仕上がります。

【鎮圧のムラによって生育にもムラが出る】

当年の飼料確保のために草地全体の播き直しが必要な場合は当年の飼料確保が課題になります。そのため当年の飼料確保のためムギ類（エンバク）や地域によってはデントコーンの播種を検討される事もあります。デントコーンを播種した場合、収穫後の牧草の播種は翌年の春になります。一方、春にエンバクを播種することで当年の飼料不足分を確保し、８月下旬から牧草播種を行う方法があります。エンバクの播種は５月中旬頃までに行い、収穫は播種後およそ50～60日後になります。その頃のエンバクは出穂期から乳熟期になっていますので、この時期が刈取り適期となります。刈り遅れて枯れ上がると嗜好性が低下しますので注意が必要です。また、エンバクは水分が高いのでサイレージにすると見かけ以上に水分が高くなっていることがあるので、刈り取り後の予乾はしっかりと行う必要があります。品種は極早生から早生の品種がお勧めです。

【エンバクの草姿（春まき）】

情報提供先・雪印種苗㈱

飼料情勢

購買課

北米コンテナ情勢

１月１日より燃料重油に含有される硫黄規制が始まり、各船会社は上乗せ料金を導入しています。この料金は今後変動する予定となっており、注視が必要な状況です。

北西部のシアトル、タコマ、バンクーバー等の港で冬季の悪天候により遅延が発生しています。

また、新型コロナウィルスによる影響で、中国の経済活動が鈍化しているため、寄港する船が減少し、中国経由の豪州産乾草、北米から中国への行き来の途中で日本に寄港する船の各種コンテナにも遅延が生じています。ウイルスの終息見通しが不透明なため、長期化が懸念されます。

輸入粗飼料

❶ビートパルプ（ＵＳ産）

昨秋の悪天候により、生育不良や収穫を断念する圃場が多数発生し、例年比で13万トンの減少が見込まれています。今後の天候次第で、既に保管されているビートの品質劣化により更なる生産量減少の可能性があります。

❷アルファルファ

(A)ワシントン産

上級品の発生が限定的で、全体的に供給力も限られているため、中級品も含め、他産地より高値で取引されています。

新穀の生育は今の所順調のようですが、作付面積が前年比で３％程度の減少が見込まれており今後の需給見通しが注視されます。

(B)オレゴン産

産地在庫はほぼ成約済みです。高成分のアルファルファが多く収穫されたため、上級品需要が集中し、産地相場は高値で推移しています。

❸チモシー

(A)ＵＳ産

上級品の多くが成約済みですが、中～低級品は一部のサプライヤーで在庫を抱えているようです。

需要は堅調ですが、2019年産は相場が軟化したため、主産地のコロンビアベースンでは転作が進み、2020年の作付面積は最大で10％程度の減少が予想されており、供給量次第では今後の全体的な相場高騰を招くことが懸念されています。

(B)カナダ産

2019年産の１番刈はほぼ成約済みです。日本･韓国を中心に上級品から低級品まで出荷は好調で、2020年産の収穫前に大半の在庫が一掃される見通しです。

❹豪州産オーツヘイ

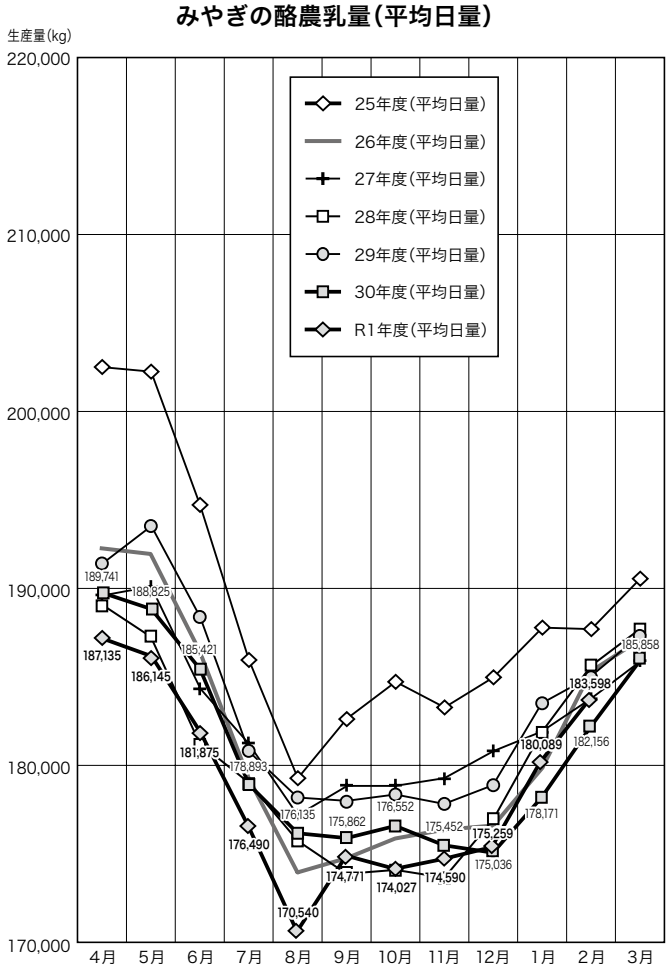
日本でも度々報道された東豪州を中心とした大規模な山火事は、倉庫在庫等への直接的な被害は無いようですが、豪州国内で今後の飼料不足が懸念される状況となり、その結果、輸出向けと国内向けの需要が競合し、東豪州では産地価格が上昇しています。

また、豪州でも１月より硫黄規制により各船会社で上乗せ料金が導入されていますが、多くは２月出航分から導入されているため、各サプライヤーも２月から価格転嫁を開始しているようです。

令和元年度　生乳生産実績

販売課

みやぎの酪農乳量（平均日量）



令和元年度生乳生産実績（４月～２月 標準進度率91.53%）

（単位：kg、%）

支部名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進度率
白石・七ヶ宿支部	26	8,337,106.2	8,303,118.2	100.41	9,050,709.0	92.12
蔵王支部	24	7,629,162.6	7,700,929.4	99.07	8,411,847.0	90.70
柴田支部	15	3,788,971.5	3,805,704.0	99.56	4,146,530.0	91.38
伊具支部	18	4,645,768.6	4,784,308.2	97.10	5,225,801.0	88.90
仙台支部	12	3,338,005.1	3,394,911.8	98.32	3,695,691.0	90.32
名取支部	6	853,197.0	874,403.0	97.57	966,360.0	88.29
黒川支部	7	1,153,510.0	1,013,387.0	113.83	1,105,962.0	104.30
大崎支部	19	3,039,229.0	3,177,802.0	95.64	3,473,912.0	87.49
遠田支部	16	5,903,869.0	5,626,709.0	104.93	6,150,849.0	95.98
加美支部	15	2,213,612.0	2,442,922.0	90.61	2,649,223.0	83.56
鳴子支部	10	1,958,461.0	2,008,016.0	97.53	2,194,130.0	89.26
栗原支部	31	5,569,880.0	5,646,363.0	98.65	6,159,141.0	90.43
登米支部	26	6,628,185.0	6,397,476.0	103.61	7,079,035.0	93.63
志津川支部	9	1,034,886.0	1,176,788.0	87.94	1,267,900.0	81.62
本吉支部	6	601,104.0	713,348.0	84.27	769,924.0	78.07
石巻支部	6	860,846.0	900,545.0	95.59	990,103.0	86.95
豊里支部	12	2,258,727.0	2,209,914.0	102.21	2,423,883.0	93.19
みやぎの酪農	258	59,814,520.0	60,176,644.6	99.40	65,761,000.0	90.96

※出荷戸数については、直近の数字です。

理事会通信

総務課

【第10回理事会】

開 催 日　　令和２年１月31日

付議事項　　第１号議案　総務委員会および業務委員会からの答申について
（令和２年度事業計画骨子（案））

第２号議案　施設の改修工事について
（玄関ポーチタイル改修）

第３号議案　出資口数の減少について

【第11回理事会】

開 催 日　　令和２年２月28日

付議事項　　第１号議案　令和元年度決算推定（収支見込）について

第２号議案　役員賠償責任保険の更新について

第３号議案　固定資産の取得について
（仙南ＣＳ曝気ブロアー交換）

売りたし、買いたし

指導課

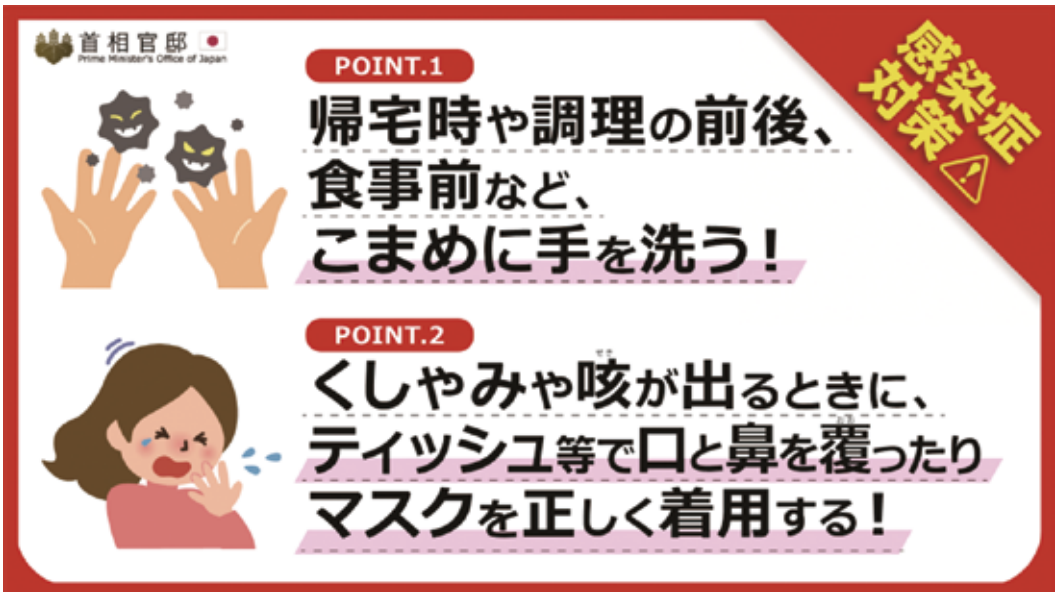
【機　械】

品　　名	バキュームカー
メーカー	株式会社　タカキタ
容　　量	3,800kg
購入月日	平成10年
販売価格	350,000円

新型コロナウイルスの感染拡大について(お願い)

指導課

当組合といたしましても、新型コロナウイルスによる肺炎の感染リスク拡大が懸念されるなか、皆様の健康や安全等を確保するため当面の間、不特定多数の方が集まる場所での研修等の開催について、中止又は延期することを要請いたします。何卒、ご理解とご協力の程よろしくお願いします。



[編 集 後 記]

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、今期はインフルエンザの発症が減少していると報道で耳にしました。基本的な事ではありますが、手洗い・うがい・マスクが重要だと改めて思い知らされました。

発 行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)